



発行 京都障害者スポーツ振興会

平成十八年度

京都新聞大賞『スポーツ賞』

芝田 徳造 氏(本会顧問)

ご受賞おめでとうございませう

京都障害者スポーツ振興会

会長 内山 茂生

昨年十一月三十日(木)午前十時から、京都新聞社大ホールに於いて京都新聞大賞(文化・学術賞・教育社会賞・スポーツ賞・福祉賞の各分野)が挙行され、本会顧問である芝田徳造氏が栄えある『スポーツ賞』を受賞されました。このことは新聞紙上に大きく報道されました。誠にめでたうございませう。皆さんと心からお祝い申し上げます。

氏は本会創設以来、三十五年の長きにわたり障害のある人々のスポーツ活動の振興に尽力された功績とその栄誉をたたえられた表彰でありまして、ご本人のお喜びはもとより、私たちこの道の関係者にとりまして、私たちがこの道にありたい姿、贈呈式当日は、京都府障害者スポーツセンターの矢作館長、本会の川面・片山・水谷副会長、金子事務局長の各氏と私が列席し、共にお祝いを申し上げました。なお、一障害者スポーツ界の功労者としては初めての栄誉であります。(因みに、平成十六

年度に、優秀選手賞として、二〇〇四年アテネパラリンピックで活躍した寒川 進選手(陸上競技の車いす一六〇〇リレー・銅メダリスト)・江島 大祐選手(競泳メダリスト)・江島 大祐選手(競泳メダリスト)が受賞されたことがあります。

このスポーツ賞は、氏の他に世界大会や連続して全国優勝するなど輝かしい成績を上げられた優秀選手・チームの方々も一緒に受賞されました。氏の「障害のある人々のスポーツも一般に行われているスポーツ」とその本質は何ら変わらない」と日頃から言われている氏の信念が通じたことでもあり、喜びを分かち合ったのであります。

今更申し述べることではないと思いますが、氏のご業績は、本会報の十一月号・十二月号にありまして、昭和四十六年十一月二十九日全国最初の障害者スポーツ団体として、京都障害者スポーツ振興会(当時全京都心身障害者スポーツ振興連絡協議会という)を川面・水谷

氏(現副会長)らと設立されたのであります。そして自ら会長として障害のある人々がスポーツを通じて自立と社会参加の促進並びに健康と体力の増進を図るため氏の信条である「スポーツは生きるため」に生きる社会の具現化」を目指され、スポーツのつどい・総合スポーツ大会をはじめ、数々のスポーツ事業の開催・スポーツ種目の工夫考案・指導者やボランティアの育成など、加えて二十年前になりましたが、第二十四回全国身体障害者スポーツ大会を京都での開催に当たつての氏の改革の提言①障害者による集団演技 ②開会式で選手団着席用椅子の提供 ③公開競技(卓球バレー・車いす駅伝の実施)の実現は、大会史上画期的なことであり、大好評でその後の開催される各府県の大会では当然のこととして実施されています。

氏の人格識見・優れた英知ともえたる情熱、卓越した指導力と障害のある人々の限りない可能性を求めてのたゆまぬご努力とご業績により、京都に限らず日本の今日の障害者スポーツ界の振興発展に大きく寄与されておられるのであります。その精魂込められたこの道一途のご活躍に心から敬意を表したいと存じます。

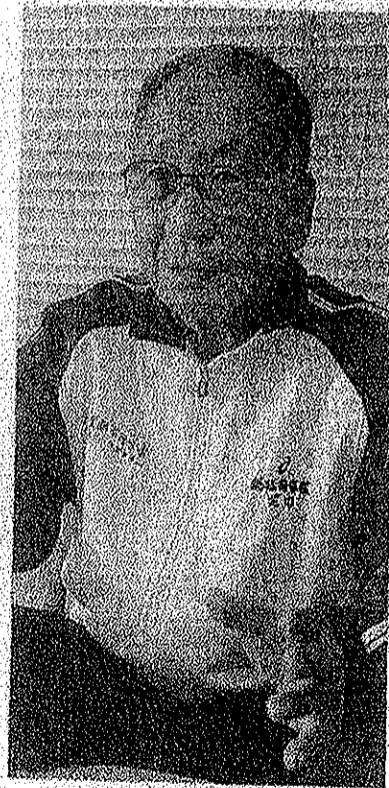
どうぞ、今後とも、健康には十分ご留意いただき、色々ご指導くださるようお願い致しまして、皆さんと共にお祝いを申し上げます。

(写真は京都新聞平成十八年十一月二十八日付けのものです)

京都障害者スポーツ振興会顧問

芝田徳造さん

障害者スポーツを振興



「一人でも多くの障害者が充実した人生を長く送れるように」。一九七一年、全国に先駆けて障害者スポーツの普及に取り組む京都障害者スポーツ振興会を設立、二十一年間会長を務めた。各地で「障害者スポーツのつどい」を定期的に開催し、障害の重い人たちに水泳や卓球バレーなどスポーツの楽しさを伝えた。

府内でのつどいは延べ四百回、障害者スポーツを必要とする

京都府山科区 80歳

行事予定

1月	9(火)	丹波障害者スポーツのつどい	丹波自然運動公園
	21(日)	ゆうあいボウリング大会	マスターズボウル新田辺
	28(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽
	28(日)	第4回京都障害者チャンピオン卓球大会	京都市障害者スポーツセンター
2月	11(祝)	障害者スキー・雪遊びのつどい	滋賀県マキノスキー場
	11(祝)	障害者スポーツのつどい	京都府立体育館

詳しくは、京都障害者スポーツ振興会事務局まで(火曜日及び第3金曜日は定休日)
 京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010
<http://web.kyoro-net.or.jp/people/spor-shin/> (平成18年12月16日に一部更新)

来月のつどいは 2 / 11 第2日曜日

「つどい300号に思う」

辻井 武

【発行のエピソード】

1980年11月つどいの帰り道、近鉄奈良線の車中。つり革を持ちながら、「コミュニケーションの熱い想いをそのま...

【会報から広報部へ】

縮刷版(1号から42号)。(1号から172号) 振興会25周年記念)の2回発行。...

【広報部から二つの部へ】

2006年の振興会は機構改革をしました。改革の主旨は「みんなが一步踏みだそう。...

【今、会報作りについて】

機構改革で、会報作り担当を創刊時のメンバーの森津さんに引き継ぎました。現在のスタッフは久門さん・北永さん・鴨...

しかなかったのですが、「会報の感想」をお聞かせいただく機会がほとんどなかったことは反省...

「誰に向けての会報?参加者・選手?スタッフ・府民?」というも編集部で議論になりました...

100回記念大運動会開かれる!!
つどい
スポーツなどで交流
京都府立伏見港公園



申込切
平成十九年一月十八日(木)

0
(電話・FAX)
075-712-701

申込・問合せ先
〒606-8106
京都市左京区高野玉岡町5

京都府立伏見港公園
京都府立伏見港公園総合
体育館

申込方法
申込書に必要事項を記入し、返信用はがき(五十円)を同封の上必ず左記へお送りください。

費用
参加費 三千元
貸しスキー代 約二千元 (希望者のみ)

申込方法

申込書に必要事項を記入し、返信用はがき(五十円)を同封の上必ず左記へお送りください。

費用
参加費 三千元
貸しスキー代 約二千元 (希望者のみ)

行先
滋賀県マキノスキー場

日時
平成十九年二月十一日

お伝えします。

日時
平成十九年二月十一日

お伝えします。

お伝えします。

平成十八年度
スキー雪遊びのつどい
参加者募集のご案内

障害者水泳のつどい



日時
毎月第三日曜日
午後1時30分〜3時30分
(7・8月は休みです)

場所
京都府立伏見港公園総合体育館
(京阪中書島駅下車)

日程
三月一八日 四月一五日
五月二〇日 六月三日
九月十六日 一〇月二一日

